シャツを着て健康になろう

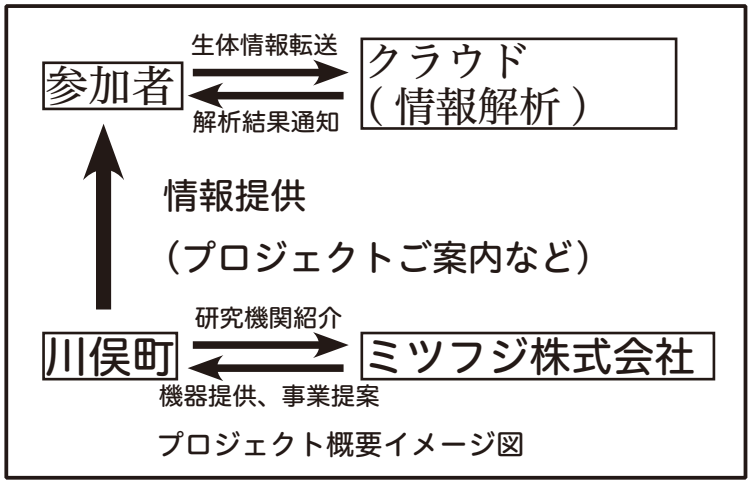
子どもから高齢者まで住民ひとり１人が健康で笑顔あふれ、
安心して暮らし続けることのできる町づくりに向け
川俣町とミツフジ株式会社で連携してシャツの完成を目指した
健康で安全・安心なまちづくりプロジェクトが始動しています。

健康で笑顔あふれる町へ

川俣町では２０１９年２月より、実証プロジェクトを町内在住・勤務の方達を対象に実施しています。サービスの実用化に向け、シャツやシステム等の検証・評価・開発を繰り返しています。日常生活の中でシャツを着用し、心拍や呼吸、ストレス値を把握しています。将来的にはシャツを着用することによって得られたデータを医療機関に提示することによって健診や診察に利用したり、家族にデータを定期的に送ることで、ひとり暮らしの場合でも見守りや安全・安心の確保にもつながることが期待されます。

実証プロジェクト概要

7月12日までに2回の実証プロジェクトを終え、現在１０１名（男性56名、女性45名）の方にご協力をいただいています。プロジェクト中には、ヒアリングも行われシャツの着心地や機器の使い方について気になることや、不安なことがあればすぐに解決できるようにしています。



プロジェクト概要イメージ図

繊維産業が復興する力になる

元々ミツフジは京都の西陣織帯工場として創業した繊維メーカーであり、斜陽化する繊維産業を復興させたい思いがありました。そんな折、工場の建設地を探していた時に川俣町を薦められ、町と町民の皆様が一丸となって復興に進む姿に熱意を感じ、進出を決めました。今後はウェアラブル端末の製造だけでなく、大手企業や大学との共同研究を始めたり、新しい雇用やアイディアを生み出す環境を作り、また企業の利益を得るだけでなく、地元の人たちと一緒に町の発展を考えていきたいと思っております。絹で栄えた川俣とミツフジの技術を融合し、世界で最も正確な生体情報が取得できる製品を創り出し、地場産業と共に新産業で復興に貢献したいと思っております。

ミツフジ株式会社
代表取締役社長
三寺（みてら）　歩（あゆむ）

～シャツができるまでの流れ～

シャツのデザインを
CAD に入力します。

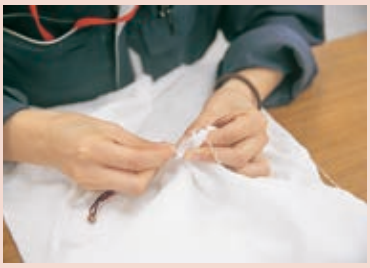
最新の機械を使い、全自
動でシャツを作ります。

3600 本の針が同時に動いて
シャツを編んでいきます！

ここからは手作業です

工　程　検　品

糸　始　末　作　業

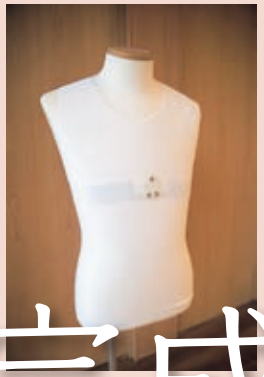


スチーム仕上げ

縫　製　作　業

最　終　検　品

1着1着確認します



完成

ミツフジ株式会社

ミツフジ株式会社は昨年９月に西部工業団地に進出した企業で、京都の西陣織工場として創業し、現在では独自技術により特殊加工を施した導電性繊維を電極とした新しいウェア、トランスミッタ、アプリ＆クラウド、アルゴリズム※まですべて自社で開発しています。そのシャツから取得される生体情報は独自のアルゴリズムで解析され、利用者の健康管理や見守りとして活用されています。今後は様々な分野にも活用の場が広がり、日本だけでなく世界からも注目されています。

※アルゴリズム…ある一定の法則に定められた、問題を解決するための理論。

MITSUFUJI